

出来高による中間払いの手続きについて

1. 概要

施設案件の中間払いについては、契約書に記載された工事内容が完了した時点にて行われる方式に加え、契約書上工事内容のかわりに中間払いの条件となる所定出来高（第1回の30%分支払いに対して50%以上、第2回目の20%分支払いに対して85%以上）を記載しその達成時に支払いを行う方式（出来高による中間払い）があります。具体的手続きは次のとおりとなります。

2. 出来高払いの手続き

- (1) 施工業者に対する中間払いを工事の内容より出来高により行う方が合理的であると判断する場合には、JICA への相談（特に、概略設計段階では想定されていなかった場合）、施主への趣旨説明及び了解の取り付けを行い、また、コンサルタント契約書についても出来高による中間払いとなる旨の記載としてください。さらに入札図書にも中間払いを出来高により行う旨を明記し、出来高払いにより中間払いを行う場合に発注者（被援助国）に提出すべき書類、手続きの方法等について記載するようにしてください。
- (2) 工事契約締結後、まず予定価格作成の根拠となった積算単価より、直接工事費を構成する工種ごとの施工単価を設定するようにしてください。施工単価は、直接工事費における工種ごとのコスト費比率により共通仮設費、現場経費、一般管理費を各工種に分配し、落札率（落札額／予定価格）を乗じて設定することになりますが、最終的に全工事出来高が契約金額に一致するよう調整を行ってください。また、ここで定めた施工単価と契約時に施工業者より提出される工事費内訳に示される単価との間に大きな隔たりがないかを確認し、隔たりがある場合には予め理由を確認の上、施工業者と協議して調整を図る必要があります（出来高による中間払いは原則として予定価格作成のための積算より設定した発注者（被援助国）側の施工単価と設計数量に基づき行うこととなりますが、施工業者が作成した施工単価と隔たりがあり、施工業者側で了解ができない場合には、理由等を協議した上で善後策を検討してください）。
- (3) 中間払いの支払い請求に先立って、施工業者は出来高払い請求書類（支払い請求書類に出来高確認シート〈別紙1の例参照〉及びバーチャート工程表上に出来高曲線を記載した図〈別紙2の例参照〉を添付）を作成し、コンサルタントに提出します。このとき施工業者は（2）で調整された施工単価及び設計数量により出来高を計算します。
- (4) コンサルタントは、（3）で提出された書類の内容を確認の上、発注者（被援助国）に提出します。
- (5) コンサルタント及び施主は出来高払い請求書類の内容及び出来高についての現場

の確認を行い、問題がなければこれを承認します（コンサルタント及び発注者（被援助国）は出来高確認シートに確認の署名を行ってください）。

- （6）以上の手続きの後、コンサルタントは所定工事が完了したことを示す証明書を施工業者に対して発行してください。
- （7）施工業者は（6）にて発行されたコンサルタントの完工の証明書にて銀行に支払い請求を行うこととなります（銀行に提出される書類は通常的方式と同じです）。
- （8）出来高による支払請求が行われた場合、コンサルタントは、進捗状況報告の一環として、出来高の確認内容について JICA に報告してください（進捗状況報告書に支払いの根拠となる出来高確認シート及びバーチャート工程表等を添付してください）。

3. 出来高による中間払いを行う場合のその他の留意点

- （1）出来高による場合には、支払い請求書類に所定出来高による請求である旨を記載してください。
- （2）各工種の出来高については千円未満を切り捨て、差額は最終支払い時に請求するものとしてください。
- （3）工種ごとの出来高の確認の方法、出来高として認定する内容については、案件の内容に応じコンサルタントが整理しておく必要があります。

4. 業者契約書の記載振り

業者契約書の支払い条件の記載振りについては、JICA ホームページの該当箇所を参照ください。

以 上

別紙1: 出来高確認シート(中間支払い用)

別紙2: 施工工程表/工事出来高予定表

20**.**.**.**

出来高確認シート（中間支払い用）

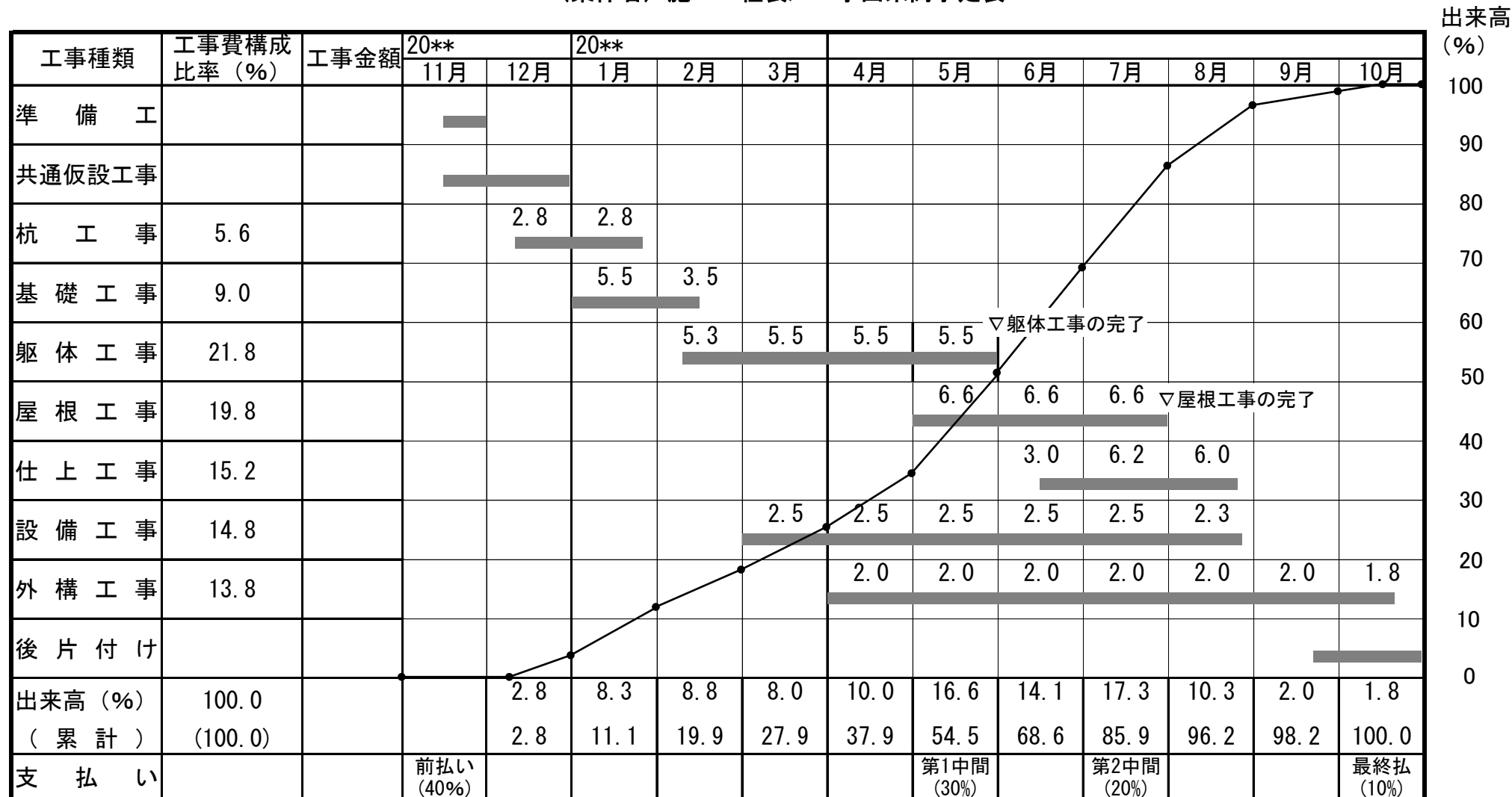
工事種類	種別	施工単価	設計数量	実施施工量	出来高（円）	コンサルタント 確認欄
切土	切土	1,800 円/m ³	15,700 m ³	7,136 m ³	12,844,000	
盛土	路床盛土	5,300 円/m ³	14,700 m ³	2,450 m ³	12,985,000	
	載荷盛土 (ﾌﾟﾚｰﾄﾞ)	4,800 円/m ³	24,100 m ³	203 m ³	974,000	
地盤改良	シート布設	300 円/m ²	13,300 m ²	3,325 m ²	997,000	
	サンドマット	4,100 円/m ³	7,000 m ³	603 m ³	2,472,000	
排水工	矢板水路	173,900 円/m	1,150 m	1,041 m	181,029,000	
	函渠工	335,100 円/m	97 m	97 m	32,504,000	
	接続柵	333,300 円/ヶ	30 ヶ	30 ヶ	9,999,000	
出来高合計 (円)					253,804,000	
契約金額 (円)					497,028,700	
進捗率 (%)					51.1	

(サイン)
現場代理人氏名
施工業者名

(サイン)
常駐監理者氏名
コンサルタント会社名

(サイン)
発注者側監督員氏名
実施機関名

(案件名) 施工工程表/工事出来高予定表



注1) 準備工、共通仮設工事および後片付けについては、共通仮設費として計上し、各工事に按分されているので、出来高として累計していない。

注2) 国債案件の場合は、各タームごとに出来高が100.0%となるよう、かつ、すべてのターム全体で100.0%となるように両者記載する。

注3) コンサルタント契約でソフトコンポーネントがある場合は、合わせて表示すること。(4か月以上ある場合は前払の請求が可能となるため)